

たくさんのご縁に  
感謝を込めて

# 名曲で飾る 習志野の響き パイプオルガン&アリアと合唱

習志野文化ホールから始まったオーケストラと合唱団。  
それぞれの想いを胸に、現ホール最後の響きを彩る。

## ■演奏曲目

〔第1部〕パイプオルガンとともに

サン＝サーンス 交響曲第3番 ハ短調 Op.78 「オルガン付き」

〔第2部〕オペラの名曲とともに

ビゼー 歌劇「カルメン」より 前奏曲「恋は野の鳥(ハバネラ)」“闘牛士の歌”

プッチーニ 歌劇「ジャンニ・スキッキ」より “私のお父さん”

歌劇「トスカ」より “妙なる調和” “テ・デウム”

歌劇「トゥーランドット」より “氷のような姫君の心も” “誰も寝てはならぬ”

マスカーニ 歌劇「カヴァレリア・ルスティカーナ」より “オレンジの花は香り” “復活祭の合唱”

※やむを得ない事情により曲目、曲順・出演者は変更となる場合がございます。予めご了承ください。



ソプラノ  
中畑 有美子



メゾソプラノ  
山下 裕賀



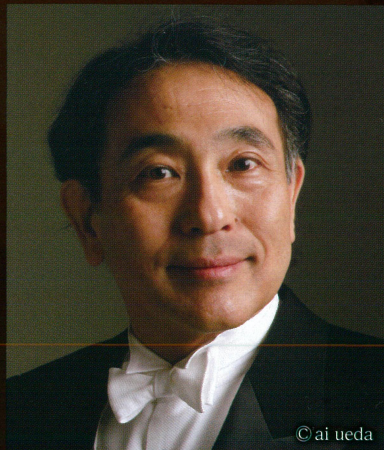
テノール  
宮里 直樹



バリトン  
原田 圭



パイプオルガン  
新山 恵理



指揮 山下一史

令和5年3月26日(日) 14:00開演(13:15開場)

習志野文化ホール

JR総武線「津田沼駅」南口徒歩4分(東京駅より30分) / 新京成線「新津田沼駅」徒歩10分  
※モリア津田沼4F 両サイドにエレベーター有

全席指定 S席 3,500円 / A席 3,000円 12月4日(日)10:00発売開始

※未就学児の入場はご遠慮ください。

※車イス席をご希望のお客様は、前日までに習志野文化ホールへ  
お申込み下さい。

※ホールでの電話・FAX・メールでのご予約は、発売日のみ14時より受付

管弦楽  
千葉交響楽団

合唱  
習志野文化ホール  
楽友合唱団

合唱指導  
原田 圭

練習ピアニスト  
高瀬さおり  
小松 紀子

## ■プレイガイド

●習志野文化ホール TEL 047-479-1212 FAX 047-476-0941  
Eメール narabunh@jcom.zaq.ne.jp

●チケットぴあ <https://t.pia.jp/>またはセブンイレブン (Pコード:230-338)  
※セブンイレブン店頭で直接ご購入いただけます。

## ■主催 / 公益財団法人習志野文化ホール・千葉県

## ■お問い合わせ

習志野文化ホール TEL 047-479-1212

〒275-0026 千葉県習志野市谷津1-16-1

ホームページ <http://narabunh.jp>

※休館日: 毎月第2・第4月曜日及び年末年始  
(月曜日が祝日の場合は翌日)



習志野文化ホール  
ホームページ



新型コロナウイルス  
感染症対策への  
ご理解とご協力をお願い

- 本公演は「劇場・音楽堂等における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」に従い開催いたします。
- 館内では常時マスクをご着用ください。 ●発熱等、体調がすぐれない方の入場はお控えください。
- 出演者へのプレゼントのお預かりおよび面会はできません。
- 新型コロナウイルス感染症の蔓延状況により、変更または中止となる場合があります。
- 当対策が変更となる場合は、習志野文化ホールホームページにてご案内いたします。



© ai ueda

## 山下一史 Kazufumi Yamashita

1984年桐朋学園大学を卒業、ベルリン芸術大学に留学。1986年ニコライ・マルコ国際指揮者コンクールで優勝。カラヤンが亡くなるまで彼のアシスタントを務める。以後、ヨーロッパで実績を重ね、ヘルシンボリ交響楽団(スウェーデン)で首席客演指揮者を務めた。

国内ではNHK交響楽団を指揮してデビュー、以後、オーケストラ・アンサンブル金沢のプリンシパル・ゲスト・コンダクター、九州交響楽団常任指揮者、大阪音大ザ・カレッジ・オペラハウス管弦楽団常任指揮者のち名誉指揮者、仙台フィル正指揮者を歴任。シューマン作曲歌劇「ゲノフェーファ」日本初演や、水野修孝作曲歌劇「天守物語」を指揮するなど、オペラ、オーケストラの両面でますます注目を浴びる。2016年千葉交響楽団音楽監督に就任、「おらがまちのオーケストラ」をキャッチフレーズに、定期公演や音楽鑑賞教室を積極的に指揮、県民に愛されるオーケストラを目指し、同楽団の評価を着実に高めている。東京藝術大学音楽学部指揮科教授として、後進の育成にも心血を注ぐ。2022年4月より愛知室内オーケストラ音楽監督、大阪交響楽団常任指揮者にも就任した。

指揮



ソプラノ

## 中畑 有美子

Yumiko Nakahata

昭和音楽大学声楽学科首席卒業、同大学専攻科修了。Venezia国立音楽院修了。第42回イタリア声楽コンクールにてミラノ大賞受賞。

Marco GANDINI演出のオペラ『ピア・デ・トロメイ』ピーチェにて初舞台を踏む。フェニーチェ歌劇場公演『絹のはしご』ジュリア、2022年4月藤原歌劇団『イル・カンピエッロ』ガスパリーナ役、同年7月に同カンパニー『コジ・ファン・トゥッテ』フィオルディリージで出演。

ヘンデル『メサイア』、ベルゴレージ『スターバトマーテル』などでも活躍している。昭和音楽大学非常勤講師。藤原歌劇団正団員。船橋市在住。



メゾソプラノ

## 山下 裕賀

Hiroka Yamashita

京都府出身。東京藝術大学声楽科卒業。同大学院修士課程オペラ専攻を首席修了。第21回コンセル・マロニエ21第1位。オペラでは、日生劇場主催2019年(ヘンゼルとグレーテル)ヘンゼル役、21年(カプレーティとモンテッキ)ロメオオ役、22年(セビリアの理髪師)ロジーナ役、藤沢市民オペラ22年(ナブッコ)フェネーナ役、『フィガロの結婚』ケルビーノなどに出演。その他のコンサートでは、ヘンデル『メサイア』、ベートーヴェン『第九』、ヴェルディ『レクイエム』、デュリュフレ『レクイエム』、プロコフィエフ『アレクサンダー・ネフスキー』、ヤナーチェク『グラゴル・ミサ』(大野和士指揮・東京都交響楽団)等で多数ソリストを務める。名古屋音楽大学主催ヴェッセリーナ・カサロヴァ女史によるマスタークラスを受講。NHK-FM『リサイタルパッシオ』出演。日本声楽アカデミー会員。



© 深谷義宣auraY2

テノール

## 宮里 直樹

Naoki Miyasato

東京藝術大学首席卒業。同大学院修了後、ウィーン国立音楽大学に留学。ウィーンとイタリアで研鑽を積む。オペラでは、二期会『蝶々夫人』ピンカートン、日生劇場『ラ・ボエーム』ロドルフォ、東京芸術劇場シアターオペラ『ラ・トラヴィアータ』アルフレード等で絶賛を博す。コンサートでも国内主要オーケストラと多数共演しており、「第九」をはじめロッシニ及びドヴォルザーク『スターバト・マーテル』、ヴェルディ『レクイエム』等で好評を博す。NHKニューイヤーオペラコンサート、『リサイタル・ノヴァ』『クラシック倶楽部』出演。二期会会員。



© 井村重人

バリトン

## 原田 圭

Kei Harada

東京藝術大学卒業。同大学院博士課程修了、博士号取得。オペラでは『フィガロの結婚』フィガロ、『魔笛』パパゲーノ、二期会<三部作>『ジャンニ・スキッキ』ペット、新国立劇場『黒船』、日生劇場『夕鶴』運ず等出演。また、吉川和夫作曲『金壺親父恋逢引』、石桁真禮生作曲『卒塔婆小町』、三善晃作曲『遠い帆』、間宮芳生作曲『ニホンサル・スキトオリメ』等、日本オペラにおいては大きな存在感を示し高い評価を得ている。コンサートでも『第九』、パッサ『ヨハネ受難曲』、モーツァルト『レクイエム』、千住明『万葉集』等のソリストとして活躍。二期会会員。

管弦楽

## 千葉交響楽団 Chiba Symphony Orchestra



千葉交響楽団は、千葉県唯一のプロオーケストラであり、前身であるニューフィルハーモニーオーケストラ千葉の31年間の活動を引き継ぎ、2016年10月に千葉交響楽団と改称した。

定期演奏会をはじめ、県民芸術劇場や各地での演奏会など、毎年およそ20回のコンサートを行い、千葉県の音楽文化の向上に努めている。また、次代を担う子どもたちに向けては、千葉県及び各市町村教育委員会の共催事業である「小・中・高等学校音楽鑑賞教室」を毎年50校ほど実施するとともに、幼稚園や特別支援学校への訪問演奏や、鑑賞団体からの依頼公演、小編成の室内楽など、あわせて年間およそ150回のコンサートを行って、音楽の素晴らしさを伝え続けている。

2016年4月に音楽監督として山下一史氏を招聘し新たな挑戦を始め、新鮮で熱気あふれる演奏は、多くの千葉県民の皆様から支持を得ており、「おらがまちのオーケストラ」と親しまれ、愛されるオーケストラとしての地位を着実に築いている。



© 金瀬 胖

パイプオルガン

## 新山 恵理 Eri Niiyama

東京藝術大学音楽学部オルガン科卒業。同大学院修了。仏・リール国立音楽院を満場一致の一等賞を得て首席で卒業、各国際アカデミーにおいて研鑽を積んだ。歴史的な楽器でのコンサートに出演して好評を博し、18世紀の楽器修復記念演奏会にも招待されている。ソロ演奏のほか、各オーケストラ、各合唱団、アンサンブルの活動を続けている。NHK-FM『朝のバロック』、NHK『名曲アルバム』等の収録に参加。レクチャーや講習会にも取り組んでいる。東京芸術劇場、アクトシティ浜松副オルガニスト。



合唱

## 習志野文化ホール楽友合唱団

習志野文化ホールの「市民と共に制作する自主文化事業」に出演するために特別編成された合唱団。公演ごとに団員を募集し、応募により選出した市民を中心にメンバーが構成される。これまでに数々の公演をしてきたが、2023年3月をもって習志野文化ホールが一旦休館となるため、現ホールでの最後となる本公演にはどのメンバーも並々ならぬ意欲をもって練習に参加している。プログラムもこれまでの演奏会の中の曲から選りすぐっており、ソリストとしても出演される原田圭先生のもと、「最後を飾るにふさわしい素晴らしい公演にしたい」と益々の意気込みを見せている。